



楽天ショップオブザイヤー2020でふるさと納税賞を受賞。

- ⑤ 中山間地域等直接支払交付金制度による事業の推進
- ⑥ 多面的機能支払交付金制度による事業の推進
- ⑦ 有用植物の調査・研究への支援
- ⑧ 農林業の連携による地域資源を活用した循環型森づくりの推進
- ⑨ ヤナギを活用した新たな産業、雇用の創出に向けた取り組みの推進
- ⑩ エゾシカ有害捕獲および有効活用の推進
- ⑪ ヒグマ被害防止対策の推進
- ⑫ 有害鳥獣捕獲の担い手育成に対する支援
- ⑬ 町有林整備事業の計画的な推進

- ⑭ 民有林振興対策の推進
- ⑮ 漁業資源の増養殖事業の推進
- ⑯ 漁業後継者の育成に対する支援
- ⑰ 漁業操業用機器の整備・更新に対する支援
- ⑱ 水産生産基盤整備事業の推進
- ⑲ 新型コロナウイルス感染症被害に向けた経済対策の推進
- ⑳ 新産業創造等促進事業の推進
- ㉑ しらぬか物産センター・恋問館の改築の検討
- ㉒ しらぬか魅力発信事業の推進
- ㉓ 青年就業者海外等研修事業の実施
- ㉔ ふるさと納税の推進
- ㉕ 再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みの推進
- ㉖ 住宅対策による定住化の促進
- ㉗ 道立広域公園整備の推進

6 みんなで歩む地域づくり

「第8次白糠町総合計画」を基本とし、さまざまな観点から事業の見直しを継続して実施するとともに、計画的かつ効率的な行政運営に努めます。

また、広報紙やホームページ、

SNSなどによる情報発信については、民間事業者が有する専門的な知見とノウハウを積極的に取り入れるなど、町民と行政が一体となったまちづくりに取り組みます。

地方分権の推進については、釧路町村会の「地域づくり広域プロジェクト推進会議」など、広域連携に向けた取り組みを推進します。

- ① 「第8次白糠町総合計画」の進捗管理
- ② 「太陽のがみ」による町民と行政の協働のまちづくりの推進
- ③ 広報紙、ホームページなどによる情報発信の充実・強化
- ④ 健全な行政運営の基盤の構築

おわりに

新たな時代「令和」のコロナ禍は、これまでの日本社会が短期的な経済合理性を追求するために、社会を構成する要素を過度に集中させたことによる都市部の脆弱性を浮き彫りにしました。

時間や場所にとらわれないテレワークなどの普及が、オンラインとオフラインを組み合わせた柔軟

性のある経済・産業活動を可能にするとともに、人生における暮らし方や働き方に対する考えや価値観に変化をもたらしており、地方への関心は高まりつつあります。

私は、こうして動き始めた「ひと・しごと・情報の流れ」を的確に捉え、さまざまな主体と関わりながら、先人から受けたこの「貴重な大地」の潜在力をさらに引き出していくことが「新たな価値」を生み、まちの原動力・成長力となっていくものと考えています。

「原点に立ち返り、足元を見つめ、耕し直す」ことを念頭に、身の丈に合った「新たなまちづくり」をより前へ、さらにその先へと、着実に歩みを進めながら、町民皆さまとの約束である「子どもたちの笑顔が輝くまち」「災害に強いまち」「第一次産業が支えるまち」を確かなものとし、安全で安心して心豊かに住み続けられる、誰もが住んでみたくなる「ふるさと白糠」をしっかりと次の世代へと引き継いでいく、その決意をもって、本年度も全力でまちづくりに取り組みます。